

平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27113 作って学ぶ考古学の世界～縄文時代貝製腕輪の製作と使用～



開催日：平成27年8月1日(土)
平成27年8月22日(土)
実施機関：明治大学
(実施場所) (駿河台キャンパス)
実施代表者：阿部 芳郎
(所属・職名) (文学部・教授)
受講生：小学生8名, 中学生6名
関連URL:

【実施内容】

1. 受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意, 工夫した点

- ・学生, 大学院生を実施協力者として補助にあたらせ, グループに分け, 作業を通じて会話ができるように配慮した。実際に, 受講生から実施協力者に, この研究を行おうとしたきっかけを質問したりする姿等が見られた。
- ・単にモノを作るだけでなく, 実験製作した貝輪を各自で計測し, 遺跡のデータと対比することによって貝輪の着装年齢を判定させ, 実験製作の意義を理解できるように配慮した。
- ・受講生の対象が小学校高学年から中学生であったため, 考古学という学問がさまざまな科学知識から成り立っていることを理解できるように, 国語・算数・理科・社会の各科目との関係性について逐次解説を加えた。
- ・修了証書に, 受講生自ら「受講して印象に残ったキーワード」を記入させることで, 本プログラムへの理解を深めるよう工夫した。
- ・保護者の参加を認めることにより子供だけでなく保護者にも興味が深まるように配慮した。

2. 当日のスケジュール

- 10:00 集合, 実習室(実施会場)へ移動
- 10:10～10:15 ガイダンス(学振から科研費についての説明, 代表者からプログラムについての説明)
- 10:15～11:00 パワーポイントを利用して貝輪の研究成果と実験内容を解説。
- 11:00～12:00 貝輪製作実験
- 12:00～13:00 お昼休憩
- 13:00～13:30 貝輪製作つづき
- 13:30～13:50 貝輪サイズの解説
- 13:50～15:00 貝輪サイズ計測と入力・データの解析と討論
- 15:00～15:30 クッキータイム及び修了証書へのキーワード記入
- 15:30～15:45 貝輪製作つづき
- 15:45～15:55 まとめの講義
- 15:55～16:00 修了式(未来博士号授与, アンケート記入・回収) 終了・解散

(1日目, 2日目とも同一日程)

3. 実施の様子

1 考古学的な研究成果の解説と実験の意義を解説



2 貝製腕輪の実験製作 [保護者の参加] (写真1)



3 出土貝輪との比較・実験データの検証 (写真2)



4 クッキータイム (成果を確認し、キーワードの考案)



5 修了証書の授与 (写真3)



写真1 貝輪の製作実験



写真2 貝輪の計測



写真3 修了証書の授与

4. 事務局との協力体制

研究知財事務室が、大学ホームページでの広報活動、受講生募集、受講生への連絡、委託費の管理、日本学術振興会との連絡調整、提出書類の確認、支出報告等を行った。

5. 広報活動

大学のホームページにおいて、広報活動を行った。

6. 安全配慮

受講生1人または2人に対して実施協力者(大学院生、大学生)を配置し、安全面に常に目が行き届くように配慮した。また、参加者には全員保険に加入させた。

7. 今後の発展性、課題

今回は製作実験に重点を置いたプログラムをおこなったが、着脱実験や縄文時代以降の貝輪を加えたプログラムをすることにより、時代ごとの貝輪の使用方法の変化から、時代背景の違いにまで考察できる可能性がある。開催にあたっての課題としては、受け付け後のキャンセル数が多かったため、募集期間や開催時期・締切期間の調整や、キャンセル待ちの受付などの工夫が必要である。

【実施分担者】

須賀 博子 日本先史文化研究所・研究推進員

吉岡 卓真 日本先史文化研究所・研究協力者

宮内 慶介 日本先史文化研究所・研究協力者

【実施協力者】 6 名

【事務担当者】

高田 尚枝 研究推進部 研究知財事務室・事務職員